

令和6(2024)年度 黒磯高等学校 第二回学校運営協議会 議事録

1. 日 時 令和7年2月18日(火) 13:30~15:00

2. 場 所 黒磯高等学校 被服室

3. 出席者 委員9名、本校職員11名

4. 次 第

(1) 開会

(2) 校長挨拶

(3) S T E A M教育生徒発表

① A I を活用した作曲

② 廃棄された食材の再利用

(4) 議事

ア 学校概況報告

① 今年度の取組

② 学校行事

③ 進路状況・進路行事

④ 部活動大会等成績

⑤ S T E A M教育・探究活動の成果

【委員】今年度が推進モデル校最終年だが、今後について説明してほしい。

→【主幹教諭】推進モデル校3年間で探究活動が形になった。S T E A M教育が全県実施となるので、本校がリーダー的存在となれるよう継続していきたい。

イ 学校評価アンケート結果

【委員】保護者と生徒のアンケート結果は概ね肯定的であるが、保護者の自由記述にはネガティブな回答も散見される。これらの回答への対応が大切だと考える。

【委員】I C T機器の活用について、職員の校内研修等は実施しているか。

→【主幹教諭】キャンバの活用研修を行った。また、2学期にI C T活用月間を設けた。

【委員】S T E A M教育の取組や発表は大変興味深かった。

【委員】大学教員から聞いた話だが、Word や Excel の基本操作やファイルの pdf 化ができない学生が多いので、高校でも対応してもらいたい。

【委員】発達障害や不登校生徒への対応はどうか。

→【教頭】スクールカウンセラーが月に2回程度来校して対応している。

【委員】学校評価アンケートで生徒の自由記述もとってもらいたい。

【委員】学校からの連絡や情報公開の仕方について指摘があったが、どのように

対応したか。

→【校長】全校集会やPTA総会等で説明した。

【委員】生徒・保護者と教員間で制服の着こなしの項目で乖離があるが対応はどうか。

→【校長】現在、生徒支援部で制服の着こなしについての明確な基準を作成中である。

【委員】STEAM教育や探究活動が社会に出たときにすぐに発揮できる力を育成できるとよい。大学入試につながるプレゼンテーション能力やコミュニケーション能力高められる取組をしてほしい。また、地域イベントへの生徒の積極的参加を促してほしい。

【委員】PTA活動について今年度で支部を廃止し、1日単位や1年単位でボランティアを募る新形式に変わるが、保護者の積極的参加を促してほしい。

【委員】知識・技能がベースとなり、思考力・判断力・表現力も伸ばせると考える。知識・技能の重要性を忘れないでほしい。例えば、校外模試で平均点偏差値50以上、偏差値55以上の人数が何人以上、偏差値45以下の人数が0人など、数値目標を設定して取り組むなど工夫をしてもらいたい。

【委員】選ばれる学校となるため、対外的な魅力の発信を心がけてほしい。

ウ その他

(9) その他

(10) 閉会